

## 事例概要

この事例の登場人物、施設等の名称はすべて仮称です。

相談者：水道橋のり子さん（母）

ご本人：水道橋久くん

記入者：支援センターひまわり 相談支援専門員：渋谷 ワカコ

相談に至る経緯	本人が特別支援学級に転籍するのに伴い、診断書提出のため、母の付き添いで小児科クリニックを受診。今後の母の相談先として福祉課に相談してはどうか、と主治医からのアドバイスがある。福祉課から当相談支援事業所を紹介され初回の相談となる。
相談内容の要約	<p>久さんは2人兄弟の長男として出生。発語や歩行が少し遅かったが、3歳児健診等では特に保健師からの指摘事項はなかった。</p> <p>幼稚園の時は友だちとのトラブル等を先生から聞いたことがなかったが、行事（運動会、発表会）などでは先生が近くにおいてサポートしてくれていた。おとなしい性格で友だちに積極的に声をかけるタイプではないものの、降園するときに声をかけられると『バイバイ』と手を振っていた。弟と比べて少し成長が遅いな、と思っていたこともあったが、健診などで指摘されたわけでもないで母は気に留めなかった。</p> <p>幼稚園の先生から『マイペースなところがあるから、小学校ではサポートしてくれる先生をつけてもらうように申請した方がいいかもしれない』とアドバイスがあったため小学校入学の際、サポーター申請をした。</p> <p>小学1年生では通常学級に在籍していたが、学校へは行き渋ることなく毎日登校していた。2年生から担任の先生から連絡をいただくことが多くなり、授業中に落ち着かずうろうろ立ち歩く、突然大声を出す、理由はわからないが友だちを叩く、気づいたら教室内から出て行って階段下でうずくまっている等の行為が目立つようになり、学校から「久さんに手厚く指導したいが、通常学級では限界がある。特別支援学級への転籍を検討するのはどうか」と言われ、父母、本人と相談した結果、3年生から情緒クラスへ転籍となる。</p> <p>特別支援学級に転籍してからは、担任の先生から連絡が来なくなったことに対して母のストレスは軽減したものの、2歳下の弟が小学校入学したことで、家庭学習のチェック、明日の準備、下校時間が兄弟で違う等、別のストレスが出てきた。</p> <p>平日の放課後はほとんどを自宅で過ごしている。テレビを見たり、YouTube、ゲームなどをして過ごしているが、テレビやタブレットの取り合いで弟とケンカになることが多く困っている。弟は近所の友だちと公園であそぶことがあるのに対し、久さんは全くなく、ほとんどを自宅で過ごしているため、母もつきつくあたってしまうことがある。</p> <p>生活面ではある程度のことは自分でできるが、学校の準備などは母が行っている。弟と2人の準備等を母一人で行うのはしんどくなり、本人には少しずつでも良いので自分でできることを増やしたり、自宅以外であそんだりして視野を広げてほしいと思っているが、母自身もどのようにすればよいかわからない。とにかく今の生活が疲れるとの話だった。</p>
	<p>初回面談後、自宅を訪問</p> <p>質問に対して初めは首振り意思を伝えていたが、徐々にことばで伝えるようになる。</p> <p>久くん本人は、「今みたいに家にいてゲームやYouTubeをみてゆっくりすごしたいが、お母さんに怒られるのは嫌だ。」「面白いことがあればやってみたい気持ちもあるが少し心配だ。」と話していた。</p>
年齢・性別 家族構成等	<p>本人：水道橋久さん（特別支援学級3年生）8歳10か月 男児 自閉スペクトラム症疑い</p> <p>家族構成</p> <p>父：会社員（大工）子どもたちの面倒は見てくれるが、仕事が忙しく帰宅も遅いため育児に積極的に参加することは難しい。</p> <p>母：専業主婦</p> <p>弟：通常学級1年生 6歳8ヶ月</p>

# フェースシート①

作成者：放課後等デイサービスすらしり 山口 作成日：令和 〇 年 6 月 〇〇 日

フリガナ	スイドウバシ ヒサシ			
氏名	水道橋 久 さん (性別：男)	生年月日	平成〇年〇月〇日	
学校名	〇〇小学校 特別支援学級 3年生	担当者名	泉先生	
保護者住所	秋田県A市			
家族構成	水道橋つばさ	父	工務店勤務 (大工)	
	水道橋のり子	母	専業主婦	
	水道橋司	弟	〇〇小学校 1年生	
	祖父母は父方、母方ともに県外にいるため協力的ではあるが頻繁に行き来はない様子。			
受診状況	医療機関	YM小児科クリニック 山本先生		
	診断名	自閉スペクトラム症疑い(自閉傾向? ADHD傾向?)		
	療育手帳	なし	I Q	不明
	服薬	なし		
	アレルギー	なし		
福祉 (医療) サービス利用状況	相談支援	支援センターひまわり		
	他事業所	なし		
	ショートステイ	なし		
	日中一時支援	なし		
	その他	なし		
家庭での様子 (困っていること)	<p>学校から帰ってきたら、すぐにおやつを食べながらテレビを見たりタブレットでYouTubeを見たりして過ごしている。宿題や家庭学習なども、取りかかるまでに時間がかかりテレビのリモコンやタブレットを取り上げなければやってくれない。学校の宿題は得意な足し算はやるが、苦手なことはやろうとしない。頑固だから親が学習や色々なことを誘っても乗ってくれない。土日も平日と同じように過ごしているが、父がお休みの時には家族で外出することもある。</p>			
備考	<p>事業所見学时、他児のあそびの様子を遠くから見ている姿があったが、「一緒にやろう」と誘っても関わろうとしない。事業所内を一通り確認する姿がある。本棚の本を眺めていたため、好きな本を聞くが返答なし。</p>			

# アセスメントシート

作成日：令和 〇 年 6 月 〇〇 日

作成者： すらり 山口

氏名 水道橋久くん（母：水道橋のり子さんから聞き取り）

日常生活	食事	自立・一部介助・全介助	食具を使用。野菜などは好まない。おやつが好きだが夕食に影響するため、母はあまり食べさせたくないと思っている。
	衣類の着脱	自立・一部介助・全介助	時々、前後を間違える時があるが声かけて自分で直すことができる。
	排泄	自立・一部介助・全介助	排便時のふき取りが甘く時々下着につけているときがあるが、概ね自立している。
	入浴	自立・一部介助・全介助	父母と入浴している。背中など一部を洗っている。
	睡眠	自立・一部介助・全介助	21時には部屋を真っ暗にしているため、寝付けない時もあるが一人で寝ている。家族4人、同じ部屋で寝ている。
	その他	上手にはできないが身の回りのことはほとんどできる。リボン結びは練習中。	

学習面	在籍学級	通常学級・支援学級（情緒クラス）・併用・その他（支援学校）
	授業中の様子	情緒学級は5年男児、2年男児と3人。支援学級に転籍してからは以前のように、学校から本人の問題行動に対する連絡はないので、どのように過ごしているか詳しくはわからない。連絡ノートからは本人なりに楽しんでいるんじゃないかな、と母は思っている。本人に学校での出来事などを聞いても『あれやった、これやった』程度の話しか聞けないため詳細不明。7月に面談があるため、先生に詳しく様子を聞いていない。学校へ行き渋るような様子はない。
	得意な教科	算数：足し算（2桁の足し算） 図工：物作り（紙、テープ等を用いた工作）
	不得意な教科	体育、国語（読書）
	その他	『今は何の授業をやっているのか』は、わかると思うが学習の内容をきちんと理解しているかはわからない。本人のわかることはやろうとするが、初めてのことで、難しいことは挑戦しようとしない。 紙やテープ等で工作をするのが好きだが出来上がりは粗末なことが多い。なわとびができないから体育が嫌い、読書が嫌だから国語が嫌い、といろいろと理由付けをし、やらないことが多い。 学校から家庭学習をやるようにと指導されているが、毎日同じ足し算のひっ算しかやらない。1年生の頃はまだ母と一緒に予習、復習をやろうとしていたが、2年の終わり頃から得意なところしかやらなくなった。母は、別のページをやるようにと勧めたりするが、イライラし始めたり『わーわー！』と大声を出すので、『支援学級に転籍するし、やるだけでもまずは良いか』と思い全て本人に任せている。出来ることなら、色々なところを学習してほしい。 作文が書けない。夏休みの作文などは母が下書きしたものをなぞっていた。

社会性	状況理解	周囲を見ている様子はあるが、状況を理解しているか否かは不明。集団行動の場面でも興味があるものが目に入ると、すぐにその場を離れる。急いでいる場面でも自分のペース通りに動くことが目立つ。
	環境適応	初めての場所に対してはそれほど大きな混乱はないが、人に対しては警戒心がとても強く、話し出すまでには時間がかかる。集団で一緒に行動しようとする姿はない。
	友だちとの関わり	ほとんどなし。友だちに話しかけられても首振りのみ。弟とは話をしているが一方向的で自分の要求を通そうとケンカになることが多い。放課後に友だちとあそんだことは一度もない。
	公共の場での行動	母と買い物に行っても一緒に行動することが少なく、1人でお菓子コーナーに行くことが多いので、母だけで外に連れていくことはほとんどない。父も一緒に外出するときは、父の言うことはある程度聞いている様子。
	その他	幼稚園の頃から弟以外の友だちと話をしたり、一緒にあそんだりしている姿を母は一度も見ることがない。幼いころは公園などに連れて行ったら、他の子たちがいても好きなように身体を動かしてあそんでいたが、今は家から出ることもほとんどなくなった。

コミュニケーション	話す	1歳半でも全く話をしなかった。2歳過ぎころから時々『あれ、これ』等と指差しとともに徐々にことばを使うようになってきたが単語が多かった。今日あった出来事などを聞いても『体育やった』のみ。ひとつずつ質問し、それに対して答えるのみで一問一答になる。要求については、ことばで伝えることができるが、人見知りのためか、要求もなかなかしゃべろうとしない。話ができないわけではないため、筆談はしたことがない。
	聴く	集団で話を聞きながら、言っていることを理解することは難しい様子。母は本人と弟と二人に対して話しているが、返答が帰ってくるのは弟のみで、本人に対しては再度確認しなければならない状況。1対1であれば目を見て話を聞くが、話を理解していないのか、理解していてもやらないのかがわからないとのこと。母も『自分がやった方が早いから』と手伝ってしまう、と話している。

余暇	趣味 好きなあそび	テレビ、Youtube、ゲーム。小学1年頃までは公園にあそびにつれていくこともあったが、今は外出することも嫌がる。ゲームはひとつずつステージをクリアしていくのが好きなようだが、クリアできないと飽きてテレビ等を見ている。
	習いごと等	なし 母は習いごとについて考えたこともない

進路について	家族の希望	今年度から特別支援学級に転籍したので、次のこと等は考えていない。
	本人の希望	今の段階では考えていない。

その他	<p>【本人からの聞き取り】</p> <p>学校は好きでも嫌いでもない。給食で好きな食べ物は肉。野菜は食べられるけど好きじゃない。パンよりもご飯や麺のほうが好き。お菓子は甘いのも、しょっぱいのも好き。嫌なことはやりたくない。好きなあそびは特にない。家ではテレビやゲームをしたりYoutubeを見たりしている。Youtubeではゲームの動画を見ている。お母さんはいつも怒っているが、なんで怒っているかわからない。弟も自分と同じようにゲームしたりするのに怒られない。家でゆっくりしたいし他のところには行きたくないけど、うるさいお母さんと一緒にいるのは嫌だ。楽しいことがあれば、ずらりに行っても良いと思う。通うことになったら毎日は疲れるから嫌だ。半分は家にいたい。</p> <p>【母の希望】</p> <p>できる限り平日は毎日デイサービスに通ってほしい。</p>
-----	---

サービス等利用計画・障害児支援利用計画

利用者氏名または児童氏名	水道橋 久	障害支援区分		相談支援事業者名	支援センターひまわり
保護者氏名	水道橋のり子	本人との続柄	母		
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額	4,600円	計画作成担当者	渋谷ワカコ
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号	〇〇〇〇×××××		
計画作成日	令和〇年6月〇〇日	モニタリング期間(開始年月)	当初3か月毎月後6月毎 (令和〇年7月)	利用者同意署名欄	

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>【本人】 ・今みたいに家にいて、ゲームやYouTubeを見てゆっくりすごしていきたい。 ・お母さんに怒られるのは嫌だ。</p> <p>【母親】 ・家にばかりいて弟とけんかになることが多く困っている。 ・少しずつでも良いので自分でできることを増やしてほしい。 ・自宅以外で遊ぶなど視野を広げてほしい。</p>
総合的な援助の方針	家族や関係機関が連携を図り、本人の特性に合った活動をサポートすることで、健やかな成長を促しながら笑顔で生活できるようにする。
長期目標	活動を通してできることを増やししながら、心身共に安定した生活が送れるようにする。
短期目標	すらりの活動に参加して友だちと楽しく過ごせるようにする。

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項	
1	家でゆっくり過ごすのが好きだが、弟とけんかになることが多い。外で遊ぶ機会が少ないため、自宅以外で遊ぶなど視野を広げてほしい。自分でできることを増やして欲しい。	自宅以外の場所でも安心して過ごせるようにし、いろいろな活動に取り組むことで興味の幅を広げられるようにする。	令和〇年 5月 (1年)	<p>○放課後等デイサービスの利用【15日/月(週3回)】</p> <p>・健康状態の把握 ・プログラムに沿った活動の提供 ・気持ちの面でのサポート ・対人関係の調整 ・家族への報告、助言 等</p>	放課後等 デイサービス 「すらし」 児発管 山口さん	<p>・かつどうにさんかして、みんなと楽しくすごす。</p> <p>・わからないことやこまったことがあれば、しえんいんに話をする。</p>	<p>当初3か月 7・8・9月</p> <p>6月毎 11・5月</p>	<p>・放課後に事業所へ通う際は、事業所の送迎サービスを利用する。</p> <p>・長期休業中や土曜日は不定期で利用する。</p> <p>・必要に応じて学校とも連絡を取り、連携する。</p>
2	家にいて、ゲームやYouTubeを見てゆっくり過ごしたい。テレビやタブレットの取り合いで、弟とけんかになることが多い。面白いことがあればやってみようという気持ちもあるが少し心配だ。	いろいろな過ごし方を探しながら、家での約束事を決めて、ゆっくりと楽しく過ごせるようにする。	令和〇年 5月 (1年)	<p>○家での過ごし方についても、家族だけでなく、関係機関(すらし・学校等)と相談しながら、楽しく過ごせるような方法を探っていく。</p> <p>・家での約束を決める ・興味、関心を示しそうな活動の提供 ・関係機関の連携</p>	<p>家族</p> <p>関係機関 (すらし・学校)</p> <p>支援センター ひまわり 相談員 渋谷</p>	<p>・やくそくはお家の人と話しあってきめる。</p> <p>・テレビやゲームはけんかにならないように時間やじゅんぱんをきめてやってみる。</p> <p>・テレビやゲームのほかにも楽しそうだなと思うことにしようとする。</p>	<p>当初3か月 7・8・9月</p> <p>6月毎 11・5月</p>	<p>・本人ができることを増やすための方法や場面の切り替え方などについては通所先にも相談して、本人に合った方法を検討する。</p>
3	本人には成長して欲しいと思っているが、家族だけではどうしたらよいかかわからない。	不安に思っていることを相談して、本人、家族が安心して生活できるようにする。	令和〇年 5月 (1年)	<p>○本人や家族の不安や負担を、関係者も一緒に考えながら軽減できるようにする。</p> <p>・家族、学校、放課後等デイサービス、相談支援事業所など関係機関の連携 ・情報提供、情報共有など</p>	<p>家族</p> <p>関係機関 (すらし・学校)</p> <p>支援センター ひまわり 相談員 渋谷</p>	<p>・困りごとや不安があれば、家族だけでなく悩まずに周りの人にも相談してみる。</p> <p>・穏やかな気持ちで過ごせるようにする。</p>	<p>当初3か月 7・8・9月</p> <p>6月毎 11・5月</p>	<p>・必要に応じて制度の利用などの支援も行う。</p>